

暑中お見舞い

申し上げます



暑いですね!!が挨拶
になりました。

加えて「節電」という
言葉が仲間の日常会話
でも飛び交います。

「今何度」「28度だよ」
「クーラーは？」
「もう少し上がったら
にしようか」「節電
だね!!」

東北も暑い中の復興
となり携わる皆さんに
暑中お見舞いと共に
御健闘をお祈りして
おります。

被災地で現在障がいを持った方たちが、ど
のような状態で生活をしているのか、

困難な状況とは具体的にどのような事か等
をお宅に訪問して伺う活動を、「きょうされ
ん」が中心となり行っています。全国の加
盟作業所から現地に派遣された職員が調査
協力をしています。はぐるまでは、第一回
派遣の中村職員のアドバイスを引き継ぎ、
今回は2名の職員を派遣し活動を支援して
来ましたので報告を致します

被災地派遣報告

《本部職員・福田 作業所職員・金田》

6月12～18日

派遣人数7名【兵庫3名・九州2名・神奈
川2名】

活動拠点 【デイサポート ぴーなつつ】

南相馬市原町区上渋佐字原田94-4

No.61号
2011年7月29日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会
後援会

川崎市多摩区菅馬場1-18-17

Tel 044-946-1308

※福島第1原発から、直線距離で約25km
地点【緊急時避難準備区域】内

《活動内容》

活動1（兵庫3名・神奈川2名）**福田・金田**

・【緊急避難計画づくり】に必要な、戸別訪
問調査の実施。

・データ入力及び報告

活動2（九州2名）

・事業所支援「ぴーなつつ」「えんどうまめ」
事業所の日中活動支援（九州支部 計2名）

事前学習（6月18日現在）

※ 理事長や施設長からのお話では、南相
馬市人口（約70,000人）の約半数の

住民に関しては、様々な事情により自宅へ戻って来ているとの事でした。(避難所で過ごせない方・仕事場の再開等)

※ 訪問調査活動に関しては、地元スタッフの方々のアドバイスを従い、県民性や被災者の感情を充分に考慮した、慎重な聞き取りが必要です。こちら側の都合(必要な情報を直ぐに聞き出そうとする等)を押し付けずに、とにかくゆっくりと相手のお話を聴くという姿勢に徹する事が大切と教わりました。

※ 理事長のお話の中で一番印象的だったのは、『聴き取りに時間がかかってもいいから、相手から「お茶飲んで」「飯食ってけ」と言われた場合には、決して断らずに「馳走になって来て欲しい、そこから南相馬の人達の本当の気持ちをお聴きください!』と何度も説明を受けた点です。(理事長は、『こちら辺の地域の人はシャイなんだ』と表現されていました)自分たちも一週間の活動中にお茶やおやつを何度も「馳走になりました。確かに」指摘のあった通り、そこから様々な具体的な課題を

お聴きする事が多かったようにも感じます。

今後、派遣されるチームに関しても同様の対応が望ましいと思われるので、南相馬市の訪問調査活動における調査員の基本的な心がまえとして知っておくと良いと思います。

※ 地域のライフラインは、ほぼ全てが回復して(大型スーパーも半分程の店舗は、開いています) 救援物資や非常用装備等の持ち込みは、特に必要ありませんでした。

ただし、現地(ピーなつつ)は、福島第1原発から直線距離で約25kmの地点に位置する【緊急時避難準備区域】内ですので、いざという時には迅速に避難できる体制をとっておくことが常に必要となります。

活動後記

・・・福田

今回「緊急避難計画作成」に参加できた事は自分の人生にとって、とても貴重な体験となりました。訪問時に転居したお孫さんの釣り道具をかたづけしていた、御爺さんの何とも言えない悲しそうな表情や危険地域

と解っていても、障がいがあるが故に避難所での集団生活に馴染めず、自宅に戻ってきているご家族から聞いたお話しは、本当に胸が張り裂けそうな思いがしました。このような沢山の報告が上がりましたが、今後のサポート支援につながっていく事を願って、南相馬市をあとにしました。



お心遣いありがとうございました



JDFの活動、御苦労様でした。皆様に助けられて、前に進んでいきたいと思っ子。写真、ありがとございました。

「ピーなつつ」の仲間と職員さんからお礼のお手紙が届きました

健康教育の実践

健康に関する特集として「運動と健康」「健康な食生活」「生活リズムと健康」と掲載して来ました。まだまだ若いと思っていた仲間達が、40歳を超え50歳に届き、腰が痛いとか、よく転ぶようになったとか聞くと、いよいよ本格的に高齢者の生活をイメージした生活づくりをしなくては!!と少々焦ります。しかしながら年を取っても、健康であることが何より大事!!

今回の特集は、健康学習として看護師さんの取り組みを紹介いたします。

便で健康チェック

看護師 江口 成子

健康チェックシートが変更され、毎日の体調・体温に加えて・便の有無を記録するようになりました。その為仲間達は「便の形やかたさなどで体のチェックをしましょう」という学習を5月からしています。まずは、食べ物や体のいろいろなところ

を通過して便なることを説明しました。

食べるものはもちろん大切ですが体の中でそれがどのように変化したかがよくわかるのが便です。そこでどんなものを食べるとどんな便が出るのかについて勉強しました。野菜をたくさん食べて規則正しい生活をしているとバナナうんちが出ます。肉ばかり食べているとねっとりとした便が出ます。暑いからと水分ばかり取っていると水っぽい便が出ます。

野菜が足りないとカチカチとした固い便が出ます。このことをイラスト入りの紙を使って勉強しました。

「健康チェックシート」には便が出ること

はいいいことなので出たら便の欄に○をしましょうと説明しました。

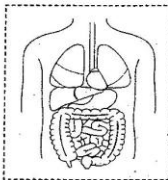
排泄について口にするのを嫌う仲間もいましたがこれから年齢を重ねていくうえで体から出ていくもの（便、尿、生理）について意識を持つことは重要なことと考えて

います。

食べることと同じようにこれからも折に触れ話していきたいと思えます。

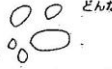



※健康チェックシート・・・2年前に新型インフルエンザが流行した時、早期発見するために、毎日体温を測り、体調のチェックをすることにしました。その時はインフルエンザが終息するまでとしましたが、うまく伝えられない仲間の、体調を把握するのに大変役に立つことが解り、それ以来毎日続けて記入し、作業所 ホーム 家庭で確認をしています。

便でけんこうチェック!!



食べたものは、体の中でこんなとおろみちをとおって便になります。

こんなときにこんな便が出ます。

| | |
|---|---|
| <p>カチカチ便 どんなときに出る?</p>  <p>カチカチ便は、便をがまんしたときなどに、出ます。</p> | <p>ねっとり便 どんなときに出る?</p>  |
| <p>水っぽい便 どんなときに出る?</p>  | <p>バナナ便 どんなときに出る?</p>  |

もっと知りたいことや、しつもんがあったら聞いてください。

528

赤い羽根共同募金

ありがとうございます

第2はぐるま共働学習ホーム

○ベランダ改修



物干しの屋根が付いたので、安心して布団や洗濯物を干す事ができるようになりました。日中人がいないので朝布団を干しても

天候が変わるのではないかと気がきでは無かったのですが、屋根ができてから、あわてる事が少なくなりました。

みどりホーム

○AED（自動体外式除細動器）

利用者の救命救急のため、心臓に疾病のある仲間や、重度の障害をかかえる方の生活を支えるホームとして常備でき、緊急装備を整える事ができました。

ホーム設置だけではなく、行事や旅行にも活用できる事で、仲間全員の為にも役立つよう活用していきます。また、ステッカーを外に掲示し、近隣地域の方にも利用できるようにしています。



玄関の下駄箱の上に常備
玄関の外にはステッカーが
貼ってあります

共同募金で作業所は主に授産に関する大型の備品を頂いています。またホームでは、仲間の生活必需品を適宜揃えさせて頂き、年々住みよい環境になってきました。地域の皆様の募金を有効活用させて頂いています、心より御礼申し上げます。

事業報告

(1)【はぐるま農園(宮前)】事業計画

進展状況報告 《事業推進委員会 福田 真》

本事業について、七月末現在の状況をご報告いたします。

六月中の賃貸借予約契約の締結を目指し、交渉を行なっておりますが、現在も契約に向けた条件交渉を継続している段階です。

遅れている理由としましては、

当初、地権者の方の予定していた総事業費が予定していた金額よりも増えてしまっている点です。

その為、はぐるまの希望する施設建物への予算が決定できない状況にあります。

はぐるま側からの要望については、すでにお伝えしてありますので、今後は建物の仕様の確定・設備器具等の予算面の交渉が中心となっていきます。

その他に現在、進めている主な調整及び交渉内容は、次の通りです。

① 施設図面の調整

(1F作業所・2Fホームレイアウトに関して、最終調整段階)

② 1F調理室のレイアウトと給食づくりに必要なとなる設備の確認(宮前区保健所との調整)

③ 空調設備等を含む設備器具費用負担についての交渉

契約の具体的な日時は、まだ決定しておりません。関係者の皆様へ、朗報をできるだけ早くお届けできるように、交渉を継続してまいりますので今しばらくお待ちください。事業進展の遅れに関しましては、この場をお借りしてお詫びをさせていただきます。

(2) 第一回相談支援部会が開かれました
平成25年に相談支援事業が再編成されました。・・・(23年に編成を実施する計画になっていましたが、利用者や事業者に十分な説明が無いままに制度を変えないで欲しいと、川崎市に対し当事者たちから、強い要望が出されました。そうした働きかけが時期を遅らせ、十分討議される期間が設けられたと思います)

編成案では、多摩区の6か所ある地域型支援センターは3か所になるので、3か所は川崎市の委託が受けられない可能性がります。はぐるまのセンターはどのような形態で継続していくのか、方針をしっかりと持ち対策を講じていく必要があります。事業推進委員会の部会として、定期的に会議を持ち、理事会に提案いたします。詳しい情報は支援センター便りで、随時お知らせいたしますので、質問やご意見等ありましたら、センターまでご一報下さい。

新任職員紹介

《宗岡 高》 生活相談支援センター

5月から支援センターに勤務しています。未だお話をさせて頂いた事がないご家族の方が大勢ですが、これからどうぞ宜しくお願い致します。趣味はギター・沖縄三線です!

★相談支援は国の重要施策となっております。高齢者ケアマネを5年間、障がい者の相談員

2年間、障害者施設の職員として十五年間の経験を是非はぐるままで活かして頂きたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。

《岡田 圭二》みどりホーム

5月に入職いたしました。みどりホーム担当と同時に、月・水曜日の週二回、はぐるま工房でもお世話になっていきます。どうぞ宜しくお願いします。以前は町田市の障がい者施設に勤務していましたが、ホームの勤務は初めてなので、仕事に関しては皆さんに一から教えて頂くことばかりです。

右も左もわからない状態ですが、自分の長所である「真面目で正直なところ(?)」を活かして頑張りたいと思いますので、どうかご指導のほどよろしくお願いいたします。

★ホームの常勤職員としての採用ですので、仲間達の生活を支える、重要な役割があります。今までの経験プラス新しい分野にどんどん挑戦して頂きたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。